

11/28(土)YouTube Live

第17回三大学連携事業公開講座

「SDGs—いま考えるべき水の未来—」を開催

LIVE 配信



大阪府立大学(学長:辰巳砂 昌弘)、大阪市立大学(学長:荒川 哲男)、関西大学(学長:前田 裕)は、第17回三大学連携事業公開講座「SDGs—いま考えるべき水の未来—」を開催します。

自然災害、気候変動、海洋汚染、食糧問題…これらと深く関わり合う“水”の問題。本講座では、水文学、政治学、会計学、生態学、海洋工学の研究者たちが集まり、様々な視点から世界の諸問題と水の関係について議論し、“水の未来”について考えます。また、学生パネリストも参加して、身近な視点からこの水問題を自分事として捉えていきます。持続可能な未来に向けて一人ひとりに何ができるのか、一緒に考えていきましょう。

開催日	2020年11月28日(土) 13時~15時55分 LIVE 配信
プログラム	13:05~ 基調講演「水と気候変動と持続可能な未来」 14:15~ パネルディスカッション「世界、日本での水資源問題について」
対象者	一般・学生(定員なし)
受講料	無料

※申込方法などは別添チラシをご参照ください

基調講演・パネルディスカッション登壇者



沖 大幹 OKI Taikan 東京大学 総長特別参与、国際連合大学 上級副学長

専門は土木工学。特に水文学(すいもんがく)および地球規模の水循環と世界の水資源に関する研究。気候変動に関わる政府間パネル(IPCC)第5次報告書統括執筆責任者。生態学琵琶湖賞、日経地球環境技術賞、日本学士院学術奨励賞など表彰多数。書籍に『水の未来』(岩波新書、2016年)、『水危機 ほんとうの話』(新潮選書、2012年)、『水の世界地図第2版』(監訳、丸善出版、2011年)など。



遠藤 崇浩 ENDO Takahiro 大阪府立大学 現代システム科学域 教授

専門は政治学。特に水管理政策に関心を寄せる。2002年慶應義塾大学大学院 法学研究科 政治学専攻博士課程:博士(法学)。総合地球環境学研究所 助手、筑波大学大学院生命環境科学研究科 准教授(環境ディプロマティックリーダープログラム)を経て2012年より現職。



岡 照二 OKA Shoji 関西大学 商学部 教授

専門は会計学。研究分野はサステナビリティ会計・コストマネジメント。特に自然資本・生物多様性保全のための会計システムの構築に関する研究に取り組んでいる。大阪市立大学商学部特任講師、関西大学商学部助教、関西大学商学部准教授、2020年より現職。



相馬 明郎 SOHMA Akio 大阪市立大学大学院 工学研究科 教授

専門は生態学。研究分野は流域圏生態システムの機構解明と予測・評価手法の構築。特に沿岸生態系が持つ水質浄化、生物生産、気候変動緩和の機能に関する研究に取り組む。(株)富士総合研究所(現みずほ情報総研)入社後、みずほ情報総研(株)研究主幹を経て2016年より現職。2019年より都市科学教育研究センター長。



大塚 耕司 OTSUKA Koji 大阪府立大学 現代システム科学域 学域長

専門は海洋工学。研究分野は海洋環境学・海洋資源工学。特に海洋深層水の多目的・多段階利用、海陸一体型バイオマス有効利用システム、閉鎖性海域の環境修復技術に関する研究に取り組む。現在、大阪湾で獲れる魚の地産地消を軸に次世代型漁村コミュニティのモデルを創出するプロジェクトに携わる。2016年より現職。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【報道資料提供に関するお問い合わせ】

大阪市立大学 社会連携課 担当:松田、井上 Tel:06-6605-3504

大阪府立大学 地域連携室(幹事校) 担当:吉田 Tel:072-254-9602

関西大学 地域連携・高大連携グループ 担当:橋本、南 Tel:06-6368-1032

本資料配布先:大阪府政記者会、大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会、大阪教育記者会 ほか



いま考えるべき 水の未来

SDGs（持続可能な開発目標）とは、国連が示した17のゴール・169のターゲットから構成される、2030年までに世界中でその達成をめざす国際目標です。「私たちの暮らしは世界の持続可能性に通じている」「誰一人取り残さない」。SDGsが呼びかけるこうした発想を三大学での取り組みを紹介しつつ、一緒に考えていきましょう。

オンライン講座・LIVE配信



東京大学 総長特別参与
国際連合大学 上級副学長

沖 大幹 OKI Taikan

2020年 11月28日(土) 13:00-15:55



基調講演 13:05～

水と気候変動と持続可能な未来

講演・パネリスト

沖 大幹 東京大学 総長特別参与、国際連合大学 上級副学長

パネルディスカッション 14:15～

世界、日本での水資源問題について

遠藤 崇浩

大阪府立大学 現代システム科学域 教授

相馬 明郎

大阪市立大学大学院 工学研究科 教授

岡 照二

関西大学 商学部 教授

大塚 耕司 (司会)

大阪府立大学 現代システム科学域 学域長

対象

一般・学生

参加料

無料

申込締切

11月13日(金)

定員

~~500名~~

なし

(事前予約制)

※大阪府立大学Webサイトまたは
右記QRコードからお申込みください



詳細は裏面をご覧ください >>>

主催



大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY



大阪府立大学
OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY



関西大学
KANSAI UNIVERSITY

後援

大阪府・大阪市 (予定)

プログラム

13:00	開会挨拶	辰巳砂 昌弘（大阪府立大学 学長）
13:05	基調講演	水と気候変動と持続可能な未来 沖 大幹（東京大学 総長特別参与、国際連合大学 上級副学長）
14:15	パネルディスカッション	世界、日本での水資源問題について 様々な事例を知り、SDGsのために今自分に何ができるかを考えます。 〈登壇者〉 沖 大幹（東京大学 総長特別参与、国際連合大学 上級副学長） 遠藤 崇浩（大阪府立大学 現代システム科学域 教授） 岡 照二（関西大学 商学部 教授） 相馬 明郎（大阪市立大学大学院 工学研究科 教授） 学生代表（大阪府立大学・関西大学・大阪市立大学） 〈司会〉 大塚 耕司（大阪府立大学 現代システム科学域 学域長）
15:50	開会挨拶	荒川 哲男（大阪市立大学 学長）

基調講演・パネルディスカッション登壇者 ※敬称略

**沖 大幹** OKI Taikan 東京大学 総長特別参与、国際連合大学 上級副学長

専門は土文学。特に水文学（すいもんがく）および地球規模の水循環と世界の水資源に関する研究。気候変動に関わる政府間パネル（IPCC）第5次報告書統括執筆責任者。生態学琵琶湖賞、日経地球環境技術賞、日本学士院学術奨励賞など表彰多数。書籍に『水の未来』（岩波新書、2016年）、『水危機 ほんとうの話』（新潮選書、2012年）、『水の世界地図第2版』（監訳、丸善出版、2011年）など。

**遠藤 崇浩** ENDO Takahiro 大阪府立大学 現代システム科学域 教授

専門は政治学。特に水管理政策に関心を寄せる。2002年慶應義塾大学大学院 法学研究科 政治学専攻博士課程：博士（法学）。総合地球環境学研究所 助手、筑波大学大学院 生命環境科学研究科 准教授（環境ディプロマティックリーダープログラム）を経て2012年より現職。

**岡 照二** OKA Shoji 関西大学 商学部 教授

専門は会計学。研究分野はサステナビリティ会計・コストマネジメント。特に自然資本・生物多様性保全のための会計システムの構築に関する研究に取り組んでいる。大阪市立大学商学部特任講師、関西大学商学部助教、関西大学商学部准教授、2020年より現職。

**相馬 明郎** SOHMA Akio 大阪市立大学大学院 工学研究科 教授

専門は生態学。研究分野は流域圏生態システムの機構解明と予測・評価手法の構築。特に沿岸生態系が持つ水質浄化、生物生産、気候変動緩和の機能に関する研究に取り組む。（株）富士総合研究所（現みずほ情報総研）入社後、みずほ情報総研（株）研究主幹を経て2016年より現職。2019年より都市科学教育研究センター長。

**大塚 耕司** OTSUKA Koji 大阪府立大学 現代システム科学域 学域長

専門は海洋工学。研究分野は海洋環境学・海洋資源工学。特に海洋深層水の多目的・多段階利用、海陸一体型バイオマス有効利用システム、閉鎖性海域の環境修復技術に関する研究に取り組む。現在、大阪湾で獲れる魚の地産地消を軸に次世代型漁村コミュニティのモデルを創出するプロジェクトに携わる。2016年より現職。

開催方法

オンライン講座・LIVE配信

配信時間：11月28日（土）
13時00分～15時55分

申込方法

大阪府立大学Webサイトまたは右記QRコードからお申込みください。

申込締切：11月13日（金）

大阪府立大学公開講座



申込フォーム



〈注意事項〉 ・参加（視聴）にはパソコン、スマートフォンなどの端末およびインターネット環境が必要です。
・視聴にかかる通信費等は、視聴する方の負担となります。

※お申込みの際の個人情報は、申込後の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。